

株主のみなさまへ

第59期 報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

〒804-0003
福岡県北九州市戸畑区中原新町3番1号

www.zenrin.co.jp

株主の皆様には、日頃よりご支援を賜り、誠にありがとうございます。

第59期は、企業・自治体向け住宅地図データサービスが堅調に推移したことに加え、開発受託等のIoT関連の売上高も増加したことにより、連結売上高が過去最高の63,747百万円で4期連続の増収となり、過去最高の売上高を更新いたしました。

当社グループは、2015年より5ヶ年の中長期経営計画を推進してまいりました。新商品の市場投入やグループシナジーによる新たな事業の立ち上げなど、取り組みの一部に遅れが生じたものの、既存ビジネスのシェア拡大やストック型サービスの売上が堅調であったことなどから、4年目までの業績は予定通り進捗しております。しかしながら、当社グループを取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、位置情報ニーズの高まりと共にユーザーの多様な要求への対応が求められております。

このような環境の変化に素早く対応し、持続的成長を実現するため、2019年4月より新中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN 2025」をスタートいたしました。

本計画のもと、ビジネスモデルの変革により早期に安定的な収益基盤を確立すべく邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



2019年6月

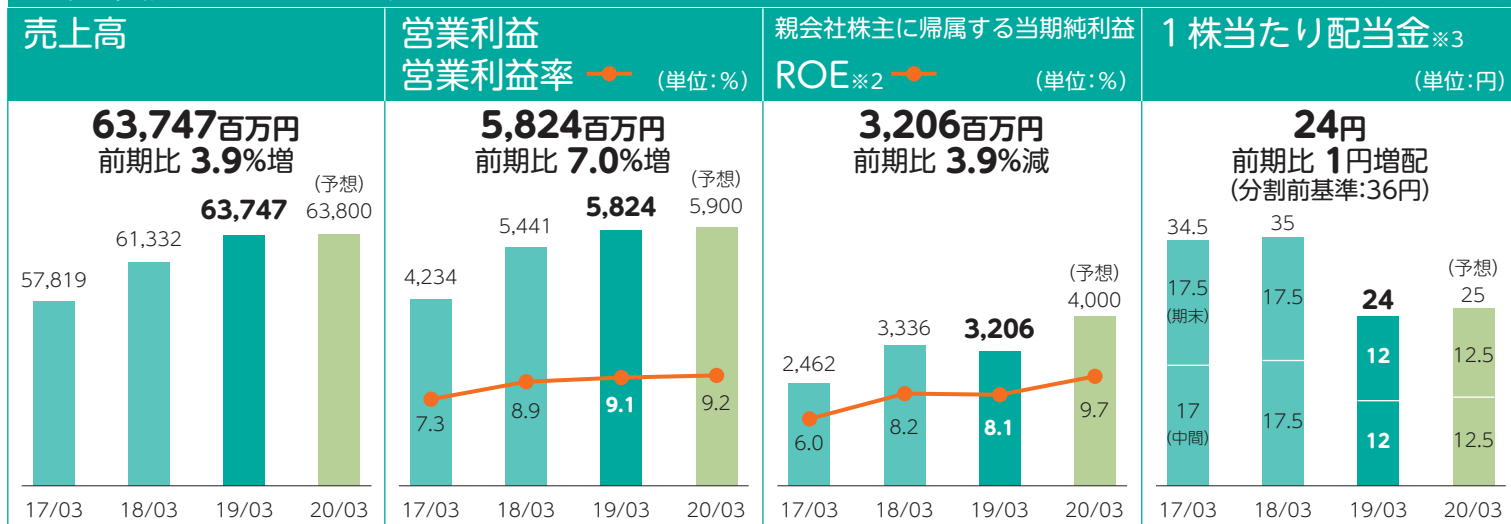
たか やま ぜん し

代表取締役社長

高山善司

連結業績ハイライト※1

(単位:百万円)



※1 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示し、営業利益率及びROEは小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。

※2 ROE:自己資本当期純利益率

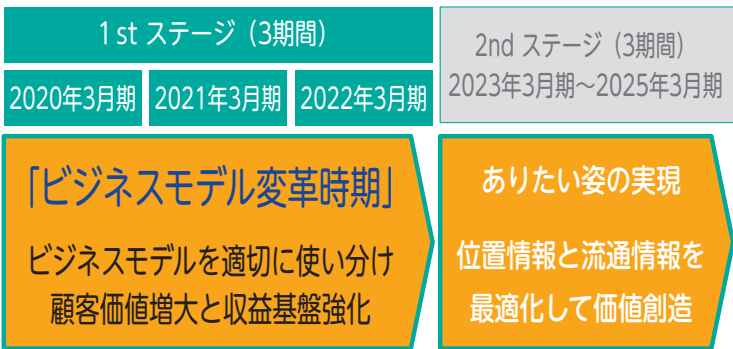
※3 2018年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を実施しており、2018年3月期までは株式分割前の金額で表示しています。

特集 新中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN 2025」(2020年3月期～2025年3月期)

「ZENRIN GROWTH PLAN 2025 (以下、ZGP25)」の内容についてご紹介します。

1. ZGP25の位置付け

2025年3月期を最終年度とする6ヶ年の成長戦略です。
2020年3月期から2022年3月期までの3期間を1stステージ「ビジネスモデル変革時期」と位置づけ、将来の安定成長を目指し、具体的施策を実行してまいります。
後半の2023年3月期から2025年3月期の2ndステージでは、「位置情報と流通情報を最適化して価値創造」を実現いたします。



2. 基本方針

「ネットワーク社会における「量と質」の最適化」を基本方針に掲げ、コト・モノ・ヒトが複雑につながる現代社会において、当社グループが保有している位置情報や一般に流通している情報の「量と質」を最適化し、利活用することで新たな価値を創造します。

ネットワーク社会における「量と質」の最適化

～ 位置情報と流通情報を最適化して価値創造 ～



3. 基本方針実現のための取り組み

I. 事業方針

当社グループが情報収集・管理する時空間情報と、世の中に存在する様々な流通情報とを組み合わせ、個々の利用用途に最適化し、提供することで、位置情報利用における顧客価値を増大させるとともに、4つのビジネスモデルを適切に使い分けることで、収益基盤を強化します。

- **フロー型ビジネス (所有)**
利用価値の高い「コト的要素」を入れた「モノ的サービス」を提供し、その都度、収益を得るプロダクトビジネス
- **ストック型ビジネス (常用利用)**
顧客が常に安心して利用できる、定期・定額サービスを提供し、継続的収益を得るライセンスビジネス
- **サブスクリプション型ビジネス (適宜利用)**
顧客の適宜要望に対応するサービスを提供し、小口の都度収益を積み重ねるオンデマンドビジネス
- **ハイブリッド型ビジネス (組み合わせ利用)**
上述のビジネスを組み合わせることで、より価値の高いサービスを提供し、継続的収益を得るビジネス

II. 生産方針

多様化するモビリティ社会に対応するため、位置に紐づくあらゆる情報を収集・管理し、適切につなげるネットワークデータベースを構築いたします。また、ネットワークデータベースの元となる時空間情報と世の中の流通情報とを機動的につなげ、柔軟に利活用できるよう、多様性と拡張性を持たせることで位置情報イノベーションを起します。

III. 組織・人事方針

多様な人財が活気溢れる組織でイキイキと活躍し、ステークホルダーに信頼される企業グループを目指します。

IV. 財務方針

利益成長及び資産効率の向上により、健全な財務基盤を維持します。

4. 業績目標

1stステージは、フロー型からストック型及びサブスクリプション型ビジネスモデルへの移行を加速するため、一時的な業績への影響が生じると捉えておりますが、早期に安定的な収益基盤を確立し、2ndステージでの利益成長を目指します。

また、資本効率及び財務健全性のバランスを考慮しつつ、位置情報ビジネス分野への積極的な開発投資又は効果的なM&A等による新規ビジネスの創造や生産性向上により、営業利益率を高めることを優先課題として、自己資本当期純利益率 (ROE) の向上に取り組んでまいります。

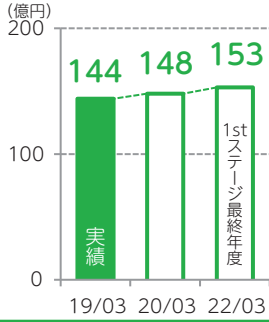
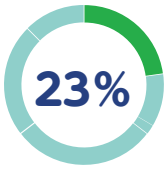
	1st ステージ			2nd ステージ
	1年目	2年目	3年目	6年目
	2020年3月期 (予想)	2021年3月期 (目標)	2022年3月期 (目標)	2025年3月期 (指標)
連結売上高	638億円	670億円	670億円	800億円
連結営業利益 (利益率)	59億円 (9.2%)	63億円 (9.4%)	67億円 (10.0%)	100億円 (12.5%以上)
ROE ※1	9.7%	9.7%	9.7%	10%以上
DOE ※2	3.0%以上	3.0%以上	3.0%以上	3.0%以上

※1 ROE: 自己資本当期純利益率
※2 DOE: 連結株主資本配当率

5. 事業別取り組み

プロダクト事業

2019年3月期
売上高構成比



民間企業を対象とした商品・サービスの提供ビジネス

【基本方針】

新たな住宅地図データベースを開発し市場を拡大

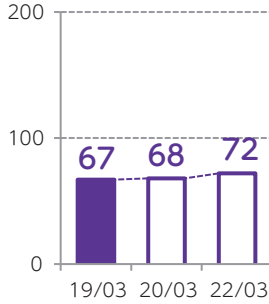
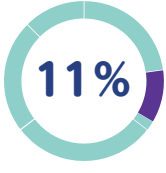
【具体的取り組み】

- 顧客の利用形態に柔軟に対応可能な住宅地図データベースの開発
- ストック型サービスやサブスクリプション型サービスなどのビジネスで収益の獲得



ストック型サービスのGISパッケージ

公共ソリューション事業



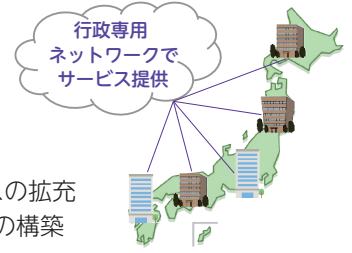
官公庁、自治体等を対象とした商品・サービスの提供ビジネス

【基本方針】

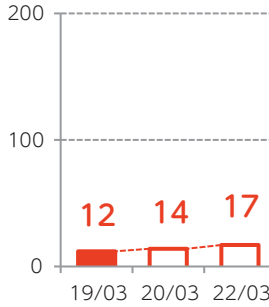
公共プラットフォームにおける収益の拡大

【具体的取り組み】

- 行政専用ネットワークに対応した商品・サービスの拡充
- 体系的なサービスを提供するプラットフォームの構築



マップデザイン事業



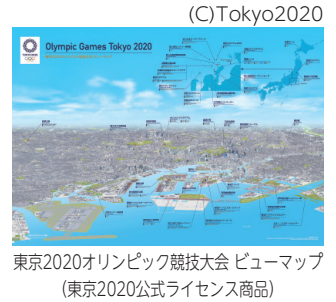
新たなコンセプトで地図を捉えた商品提供ビジネス

【基本方針】

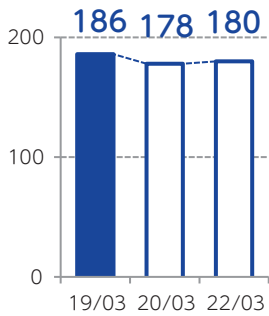
地図デザイン商品群でコンシューマー市場を創造

【具体的取り組み】

- インバウンド向け商品の開発
- 大型イベントでの公式ライセンス商品の販売



オートモーティブ事業



カーメーカー、カーナビメーカーを対象とした自動車関連ビジネス

【基本方針】

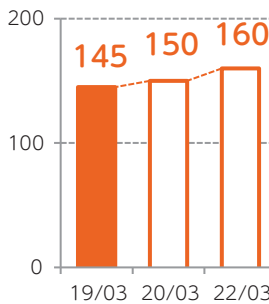
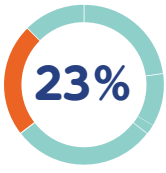
データベース整備の最適化によるナビビジネスの継続と新たなビジネスの創造

【具体的取り組み】

- コネクテッドカーに対応したサービスの提供
 - 自動運転/先進運転支援関連ビジネスの収益化
- ※コネクテッドカー
インターネット接続機能を備え、情報を送受信できる車



IoT事業



特定産業インフラ企業、モビリティサービス事業者、IoT事業者へのソリューション提供ビジネス

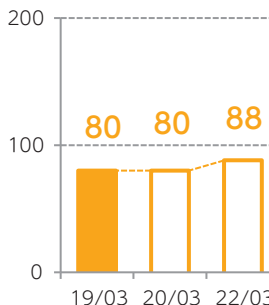
【基本方針】

位置情報ビジネスとIoTソリューションの融合

【具体的取り組み】

- 位置情報と様々な情報を紐づけた多様なサービスを提供
- ※IoT(Internet of Things)
あらゆる「モノ」がインターネットを通じて繋がり、情報交換することにより相互に制御する仕組み

ソリューション事業



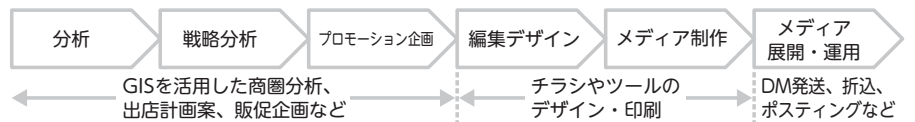
グループリソースを活用したマーケティング、販売促進活動支援ビジネス

【基本方針】

中小企業及び個人事業主の課題解決型サービスを開発し新たな市場を創造

【具体的取り組み】

- グループ各社の経営資源とノウハウの活用によるマーケティングのトータルソリューションを提供



「2019年 株主アンケート」実施のご案内

株主の皆様とのコミュニケーションをより充実させるため、「2019年 株主アンケート」を実施します。(所要時間:10分程度)
ご回答いただいた株主様の中から抽選で、70名様にプレゼントをお送りしますので、当社WEBサイトよりご回答をお願いします。

【抽選で70名様にプレゼント】

- フオカード(1,000円) 60名
- 当社オリジナルグッズ 10名

【実施期間】

- 2019年6月14日～7月31日

「個人株主様向け会社説明会」初開催のご案内

当社の個人株主様を対象とした会社説明会を初開催します。
参加ご希望の方は、以下の開催概要をご確認のうえ、当社WEBサイトよりお申し込みください。

【個人株主様向け会社説明会 開催概要】

- 日時 : 2019年11月29日(金) 14時～15時(予定)
- 場所 : 東京本社(東京都千代田区)
- 人数 : 40名程度(※応募者多数の場合は抽選)
- 内容 : 当社概要説明、質疑応答 等
- 申込期間: 2019年6月14日～9月30日

「2019年 株主アンケート」ご回答・「個人株主様向け会社説明会」お申し込み方法

●「ゼンリン 投資家」で検索

ゼンリン 投資家

検索



当社WEBサイト「株主・投資家の皆様へ」のページから該当する「2019年 株主アンケート」、「個人株主様向け会社説明会」のいずれかをご選択ください。

●二次元コードからアクセス

2019年
株主アンケート



個人株主様向け
会社説明会



(注)「2019年 株主アンケート」のご回答、「個人株主様向け会社説明会」のお申し込みには、ユーザー名とパスワード、株主番号(数字8ケタ)の入力が必要となります。
株主番号は同封の「期末配当金計算書」に記載しております。

- ユーザー名:
- パスワード:

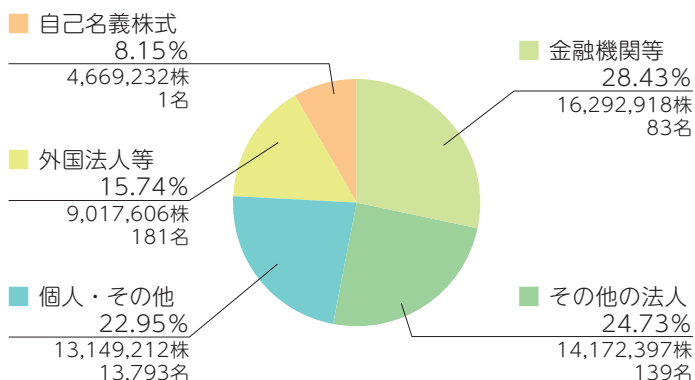
株式の状況 (2019年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 201,000,000株
- 発行済株式の総数 57,301,365株
※当社定款に第1種優先株式を発行することができる旨の規定をしていますが、発行した第1種優先株式はありません。
- 株主数 14,197名
- 大株主(上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)サンワ	5,271	10.01
トヨタ自動車(株)	4,272	8.11
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,600	4.94
(株)西日本シティ銀行	2,295	4.36
ゼンリン従業員持株会	2,272	4.31
大迫ホールディングス(株)	1,895	3.60
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,807	3.43
大迫 キミ子	1,351	2.56
ジェーピー モルガン バンク ルクセンプルグ エスエイ	385576	2.46
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	920	1.74

※当社は自己株式(4,669千株)を所有しておりますが、上記の大株主には含めておりません。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しています。

●所有者別株式分布状況



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711(通話料無料)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
- 証券コード 9474
- 上場証券取引所 東京証券取引所 福岡証券取引所
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告(当社WEBサイトに掲載)
<https://www.zenrin.co.jp/koukoku/index.html>
(やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株式のお手続きのご案内

主なお手続き	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式(1～99株)の買取・買増請求 ●配当金受取方法の指定・変更 ●マイナンバーの届出(※) ●住所・名義変更 等 	(証券口座にて株式を管理されている株主様) お取引の証券会社 (証券会社とお取引がない株主様) 三菱UFJ信託銀行株式会社
<ul style="list-style-type: none"> ●未払配当金のご照会・お支払 ●その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三菱UFJ信託銀行株式会社

※市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

本誌に関するお問い合わせ
株式会社ゼンリン 経営管理・IR部 株式・IR課
TEL:093-882-9050(代表)

